

豊川閣妙巖寺 参拝巡路

(豊川稲荷)



ご案内

豊川閣妙巖寺（豊川稻荷）

当妙巖寺は二四四一年（室町時代前期・嘉吉元年）、旧暦十一月二十二日、永平寺御開山道元禪師の〔法孫の系譜〕法嗣、寒巖義尹禪師から六代目の法孫、東海義易禪師により、曹洞宗の寺として開創された名刹であります。

本尊は寒巖義尹禪師伝来の千手観世音菩薩であり、鎮守として同師が感得された通称豊川稻荷で親しまれる、豊川吒枳尼真天を祀っております。寒巖禪師が二二六四年（鎌倉時代中期・文永元年）求法のために入宋し、二二六七年帰国の折、乗船中、妙相端麗、稻穂を荷い、宝珠を捧げ、白狐に跨がるお姿の靈神が海上に現われ、御神示賜まりました。禪師は深く感動され、帰国の後、示現のお姿を手ずから刻まれ、終生守護の善神として祀られました。これより後に法孫、東海義易禪師が、この豊川の地に〔えんぶくさんみょうごんじ〕円福山妙巖寺を開創され遷座いたしました。

豊川吒枳尼真天の御神示の中にある「唵尸羅婆陀尼黎吽娑婆訶」を要約すると「此の神咒（呪文）を唱える時は、わが信心は何処までも通じて正しき戒力により悪事災難は除かれて、福德智慧を賜わり、苦を抜いて楽となし、悲しみを転じて喜びとなすことが必ず成就する」という意であります。此の吒枳尼真天の御誓願をうけ当山は御参拝の方々の諸願満足を祈願する寺として知られています。

御祈祷の受付は、総門を入り、右手の大書院にむかうと太玄閣の横に総受所（立願所）があります。こちらで御自身の願いごと、家内安全、営業繁栄、身心堅固、厄難消除、病氣全快、開運満足、心願成就、社中安全、出産安全、良縁具足、学業増進、交通安全、大漁満足、海上安全、災難消除等々を出して、御祈祷を受け、御礼を受けていただきます。

また、御祈祷を受けられた方（一定の金額以上の御祈祷料御志納の方）には点心（精進料理）の接待がありますし、参籠御希望があれば宿泊し、翌朝の御祈祷に参拝していただきます。

豊川稻荷年中行事

初詣で	一月	自元日 至十五日
初午祭	旧二月	初午日
春季大祭（豊年祈願祭）	五月	四、五日
み魂まつり（盆おどり）	八月	七、八日
秋季大祭（鎮座祭）	十一月	第三土・日
月例祭（縁日）	毎月	廿二日

所在

豊川市豊川町一番地 豊川閣

電話 〇五三三（八五）二〇三〇

FAX 〇五三三（八三）〇八八七